

京都市外国籍市民施策懇話会 ニュースレター No.8

編集／発行：京都市外国籍市民施策懇話会事務局（京都市総務局国際化推進室）

2002（平成14）年度第4回会議開催

＜日時＞ 2002（平成14）年2月28日（木）
午後2時から4時50分まで

＜場所＞ 京都市国際交流会館

議題：就職問題について



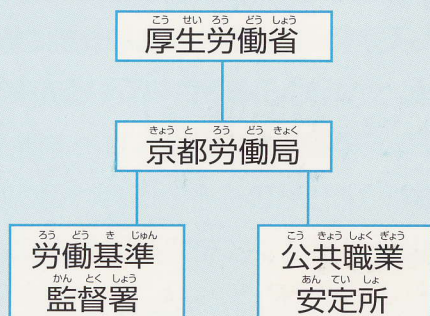
就職問題についての審議背景

労働行政は、国の所掌事務として一本化^{*1}されています。

このような中、京都市では、従前から企業等における人権尊重の意識の啓発支援に取り組んできています。

今回の懇話会は、担当委員から外国籍市民の就職についてご自身の体験談や新しく来日した外国籍市民の抱える問題等を発表していただき、議論を行いました。

^{*1}
（京都府の場合）



京都市職員採用試験の国籍要件緩和

京都市は、2001（平成13）年度実施の職員採用試験から、一般事務職、一般技術職、学

校事務職についても国籍要件を緩和しました。これにより、消防職を除くすべての職種の採用において外国籍市民への門戸開放が実現しています。

第4回会議での各委員の意見

委員

人口に占める医師数がどのようなものかを
探ってみたところ、全国では0.186%、京都府
では0.249%であった。一方、京都府の在住
外国人に占める外国人医師数は、0.263%で
あった。条件が悪ければ悪いなりに、その中
で生活するものは努力して対応はしていると
あらたおも改めて思った。

委員

中国系住民は、来日後、4カ月間日本語、生活習
慣の研修を受け、その後、就職する。研修直後、
生活が不安定なため生活保護のサポートを
受ける人が多い。40～60代男性に閉じても
りの傾向が見られるのは、仕事がない、日本語
が分からないといったことが要因と考えられる。

委員

人権問題情報誌「ベーシック」は、本当に良い
取組をしていただいて思う。企業の方は、
新しく日本に来た外国人と日本生まれの外国
人の区別がついていないので、企業の人権担
当者に対して私たちのことを知ってもらえる
取組をしていただけたらと感じた。

委員

正式な採用手続のときに、「住民票を提出し
てください」と書くのと、「住民票又は外国人
登録証を提出してください」と並立して書く
のと全然違う。通名で応募されていて、採用
が内定し、住民票を出さなければならないとき、
外国籍の方だとショックを感じる。

委員

中国帰国者は日本語を勉強させてもらってい
るが、彼らは、日常生活で使う日本語しか話せ
ないので、仕事が単純労働等に限定される。
だから、彼らが中国で持っていた技術・知識を
生かせるような仕事を探してあげてほしい。

委員

小規模の店の開業等、自分の能力があれば、日本
で仕事をしていくことは十分できる。外国籍住
民の起業を促していくことが必要ではないか。

委員

一番弱い立場の外国人労働者にある程度重点
を置いたような啓発の取組が必要ではないか。

委員

緊急雇用対策など景気対策の予算があると思
うが、その予算が外国籍住民の雇用機会に使わ
れていないのではないか。

委員

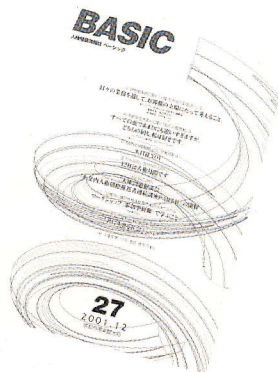
在日学生の就職問題で、本名と通名の問題がある。
つまり採用するが、本名はだめという雰囲気
が強い。大学生になって初めて本名に変えたのに、
就職してまた通名に戻ったという例は私の周り
にある。そういうことを含めていろんな課題を
ベーシックに取り上げてほしい。

◆ 人権問題情報誌「ベーシック」◆ ◆ ◆

じん けん もん だい かん じょう ほう し ない き ぎょう じ ぎょう しょ てい きょう
人権問題に関する諸情報を市内企業・事業所に提供するため、
ねん かい ばっこう さん ぎょう しん こう か けい さい
年3回発行。産業振興課のホームページにも掲載。

<アドレス>

[http://www.city.kyoto.jp/sankan/sanshin/
basic_index.html](http://www.city.kyoto.jp/sankan/sanshin/basic_index.html)



ぎょう いく もん だい
教育問題について

ぜん かい ぎ だい きょう いく もん だい じゅう ぶん ぎ ろん こん かい かい ぎ けい ぞく
前回、議題の教育問題について十分な議論ができなかったので、今回の会議で継続するこ
とになりました。まず事前に委員から出された質問等について教育委員会事務局から説明
があり、その後質疑応答がありました。

- こう む ぶん しょう およ けん しゅう さん か
校務分掌及び研修参加について
- こ こ こ か だい もう おく
子どもたちの個々の課題の申し送りについて
- かい せつ しょう した ふく とう ほん
解説書又は副読本について
- し りつ とう とう けん ぎゅう かい
市立高校の研究会について
- かん り しよく けん しゅう
管理職研修について
- じ とう せい と かん こう りゅう
児童・生徒間の交流について*2

みん ぞく がっ こう し りつ しょう がっ こう こう りゅう
*2 民族学校と市立小学校との交流
イベント ユーアイ・スクエア

みん ぞく がっ こう ひ こう りゅう し りつ しょう がっ こう
民族学校と日ごろから交流のある市立小学校が
ちゅう しん ち とも
中心となって、それぞれの子どもたちが1日を共
に過ごすことでお互いの友情を育むことを目的に
す たが ゆう じょう はぐむ もく てき
3年前から開催されている。なお、今年度は、京都
し およ きょう いく い いん かい じ ぎょう こう えん
市及び教育委員会は、この事業に後援した。

その後の委員からの意見で、外国籍児童・生徒の指導について、自分のルーツのことで子ども自身が
なや も ぶ ぶん かが すべ はい けい し と く ひつ
悩みを持つ部分もあるので、プライバシーに関わることだが、全ての背景を知って取り組むことが必
要という意見がある一方、帰化の仕方、自分のルーツを明らかにしない場合もあり、そういう家庭の
ねが じゅう し もん だい がい こく せき し てい たら がっ こう せん せい
願いを重視すべきで、こういう問題を外国籍の子弟であるということだけで捉えることや学校の先生
なか と あつか むすか もん だい い けん
の中で取り扱われるべきものかどうかは難しい問題があるという意見もありました。また、学校現場
こ せい ちよう じょう きよう おう し とう たい せつ い けん
で子どもの成長・状況に応じた指導の大切さもあるという意見もありました。

懇話会が2001(平成13)年度の 報告書の提出予定

4月初旬、懇話会を代表して、仲尾座長が京都市長あてに「2001(平成13)年度報告書」を提出します。この報告書は、2001(平成13)年度に開催された4回の会議の審議内容とともに、京都市が取り組むべき課題についての懇話会からの提言を掲載しています。

*報告書をご希望の方は下記までお問い合わせください。

なお、ホームページにも掲載されています。

事務局からのお知らせ

今回で、第2期が終了し、来年度から第3期(2002(平成14)年4月～2004(平成16)年3月)が始まります。それに際しまして、第3期外国籍市民委員を公募し、新しい委員構成で2002(平成14)年度第1回会議が開催される予定です。会議の開催については、次のニュースレター等でお知らせします。

なお、ニュースレターのバックナンバーをご希望の方は、下記までお問い合わせください(ただし、第3号については在庫がありません)。



京都市外国籍市民施策懇話会事務局

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

京都市総務局国際化推進室

TEL075-222-3072 FAX075-222-3055

ホームページ: <http://www.city.kyoto.jp/somu/kokusai/>

Eメール: kokusai@city.kyoto.jp